

会 議 録

1 会議名	第 1 回 南砺市社会教育委員会
2 議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱状交付 ・ 委員長・副委員長の選出について ・ 協議事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和 6 年南砺市二十歳の集いについて ・ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> (1) 南砺市教育委員会に関わる組織・機構について (2) 令和 5 年度南砺市教育委員会重点施策について (3) 令和 5 年度社会教育委員会に関わる当初・補正予算概要について (4) 生涯学習事業について (5) 南砺市立図書館の取組について (6) 令和 5 年度全国高等学校総合体育大会・第 73 回全国高等学校スキー大会の開催について (7) 令和 5 年度こども・子育て政策について (8) 中学校部活動の拠点校化・地域移行について (9) 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ 2023 について ・ その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 当面の主な行事予定について
3 開催日時	令和 5 年 6 月 27 日 (火) 午後 3 時 30 分から午後 17 時 15 分
4 開催場所	南砺市役所 3 階 302 会議室
5 会議出席者	<p>南砺市社会教育委員 出席 12 人/全 14 人</p> <p>委 員：武田和一(委員長)、岩井透(副委員長)、中川昇、干場健、渡邊一美、杉下悦子、瀬戸広美、前田悟志、今川浩美、橋本正俊、越山穂高、秀永ゆかり</p> <p>事務局：教育長、教育委員会教育部長、生涯学習スポーツ課長、高校総体スキー推進室長、教育総務課長、こども課長、文化・世界遺産課課長、南砺市立中央図書館館長・生涯学習スポーツ課生涯学習係長、生涯学習スポーツ課生涯学習係主任、生涯学習スポーツ課生涯学習係主事</p>
6 欠席者	委員：嶋田充宏、唐嶋田鶴子
7 傍聴者	無し
8 議事内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 鵜野生涯学習スポーツ課長 ・ 委嘱状交付 あらかじめ配布してある委嘱状をもって交付 ・ 開会あいさつ 教育長 ・ 委員長・副委員長の選出について 事務局一任の意見により、委員長に武田和一氏、副委

員長に岩井透氏を選任。

・委員長あいさつ

武田委員長

コロナ禍になりましてから3年余り、ようやくコロナが解けてきて、皆様方の多種団体の色々な活動をこれから一生懸命できる時期がきた。市民の意見を聞きながら、どう社会教育に結びつくかご審議いただければと思う。色々な諸問題がありますが、皆さんのお力で解決できるように努力してもらいたい。私も、南砺市民を良い方向にもっていけるかということを考えている。

・進行

武田委員長

・協議事項

(1) 南砺市二十歳の集いについて説明

事務局：(資料1に沿って説明)

●質疑応答

委員：令和6年度の対象は何人になりますか。

事務局：住民票上では390人近くですが、進学先の住所に変更している方もいるので440人前後である。人口も若干減っているため、人数が減少傾向となっている。過去5年間の出席率は86%程度となっており、毎年二十歳の方がたくさん戻ってきてもらい式に参加していただいている。また、式典項目については大きく変わることなく、今年の1月と同じ式典項目で開催予定である。

副委員長：実行委員は地域づくり協議会を通じて募集すると言っていたが、今までも地域づくり協議会を通じて募集していましたか。

事務局：地域によって異なるが、二十歳になる方の中から1人及び2人ほどを選出し、実行委員会を開催している。

委員長：主流は二十歳になる方が色々決めていくということですか。

事務局：式典項目については変わらないが、思い出動画を作成したり、イベントを考えたりしている。コロナの関係でできなかった地域もあるが、徐々に再開していくはずである。

委員：昨年までは保護者1名でしたが、コロナが5類になることで、従来通りの人数制限をしない式に戻りますか。

事務局：今のところは人数制限をすることなく従来通りに戻しての開催予定である。

委員：検温や抗原検査などの事前調査といったコロナ対策も必要ない

ということでしょうか。

事務局：コロナ対策はせずに実施の予定である。

委員長：従来の形に戻すということになっていますが、実行委員会で子ども達が不安に感じる事があれば変わる可能性がある。第9波に突入し、まだまだ予断が許さない状態となっているため、今後もコロナへの懸念をお願いしたい。

・報告事項

(1) 南砺市教育委員会に関わる組織・機構について

事務局：(資料2に沿って説明)

(2) 令和5年度南砺市教育委員会重点施策について

事務局：(資料3に沿って説明)

(3) 令和5年度社会教育委員会に関わる当初・補正予算概案について

事務局：(資料4に沿って説明)

●質疑応答

(3) について

委員：福野小学校・中学校の吹奏楽が大変立派なもので、楽器の購入や壊れた楽器の修繕費用等は必要ないでしょうか。

事務局：必要な予算は計上していますし、修繕も定期的に行っている。

委員：子どもたちが頑張っているのでも、新しい楽器を買ってあげることでも子ども達の学習に繋がると思う。予算が組んであるのであれば良い。

事務局：記載してあるものは、主なものになっている。必要なものは常に予算計上されている。

(2)、(3) について

委員：資料3及び資料4に「子ども」というワードがたくさん出てくるが、漢字表記の「子ども」とひらがな表記の「こども」はなぜ違うのか。統一した方が良いのではないのでしょうか。

事務局：事業名として国の事業名が漢字表記になっているものは漢字で記載し、ひらがな表記のものはひらがなで記載させていただいている。

委員：学校では「子供」という表記が多いですが、区別されていることはありますか。

委員：小学校や中学校では保護者の方にお渡しする文章に関しては、小教研や中教研で統一されており全て漢字で書いて配布してい

る。

事務局：文部科学省は全て漢字の「子供」、厚生労働省の関係は「子ども」、こども基本法に関わるものは全てひらがなの「こども」で表記させてもらっている。国の文章に合わせて使い分けている。

委員長：大きな違いはなく、深い意味はないと思う。

(4) 生涯学習事業について

事務局：(資料5に沿って説明)

(5) 南砺市立図書館の取組について

事務局：(資料6に沿って説明)

(6) 令和5年度全国高等学校総合体育大会・第73回全国高等学校スキー大会の開催について

事務局：(資料7に沿って説明)

● 質疑応答

(5) について

委員：図書館の取組について、大変目玉の事業だと思う。2億4千万円もの予算がついており、どのくらいの貸出し数の増加を見込んでいるか。また、現状はどのくらい分かるデータなどはありませんでしょうか。

事務局：本会議には資料を持ってきていないため、正しい数字を申し上げることができませんが、現在タブレットやスマートフォンの普及やコロナの影響で図書館に足を運んできていただける方が減少している。そのため、本を読んでいただく環境を作りたいと考えている。例えば、高齢者だと、交流センターで本を受けとることができる仕掛けづくりをすることによって一人でも一冊でも多く本を提供していきたい。

委員：どのくらい本の貸出し数を増やしていきたいという、目標の数値はありますか。

事務局：今はまだ立てていないので、これから目標を立てていく。

委員長：費用対効果というような話が出てくると思うが、どのくらい伸びるのかということがあり、例えば先進県があって、南砺市同様のシステムを利用したことによってどれほどの成果が上げられたというようなデータはありますか。

事務局：システム導入後、またこの場で成果を報告したいと思う。

事務局：調べたところ、今年このシステムの取り組みを図書館で申請して

いるのは、福島県に1つと南砺市にしかない。DX事業で35件応募された中で、学校とのネットワークを図るという事業は南砺市と福島県の2つだけ選ばれた。良い数字を出し、ご報告できるように努める。

(6) について

委員長：高校総体スキー大会では、南砺市出身の子が多数出場しており、見どころがある。間違いなく上位を狙うことができる子どもがいるので非常に楽しみである。

事務局：昨年、全国中学校体育大会でも入賞し、今年海外の大会でも入賞している。高校総体ではかなり期待がもてると思う。

(7) 令和5年度こども・子育て政策について

事務局：(資料8に沿って説明)

(8) 中学校部活動の拠点校化・地域移行について

事務局：(資料9に沿って説明)

(9) 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2023について

事務局：(資料10に沿って説明)

● 質疑応答

(8) について

副委員長：部活動の拠点校化ということを市民の方はどれほど理解されているのか。48Pの表<具体的な対応>では令和8年度までの記載があるが、令和10年度が完全実施のため、令和10年度の中学校1年生は、今年度小学校何年生なのか。そのことを考えながら仕事をしないといけない。

小学校のPTAさんたちの男女共同参画社会の子育て世代の方からのアンケートにも拠点校化のことについて触れている。アンケートからは私たちの意見を聞いてほしい、取り入れてほしいという声があり、もっと丁寧な進め方が必要だと思う。いずれ発表する時に、うまく着陸できるようにしてほしい。学校のあり方検討会など様々な「～～を考える会」などが増えてきていると思うが、そこで出た意見を時系列を追って教えてもらいたい。心配している。

教育長：私も心配している。正直に言うと、国の部活動の方針が定まらず、中々決まらないというのが現状。先日も国の方からアンケートが来ていたが、以前言っていた方向に動くかどうか、また違う方

向に動こうとしているのではないか。というようなアンケートだった。国からの補助も関係があり、現在は熟考している段階である。決まったところから、副委員長が言われますとおり、発表していかないといけないので、懸念点をまた皆で話し合っ、考えていきたい。今はそこまでしか言えない。ただ、令和10年の完全実施の時に小学校何年生の子があたるのか、そのような人たちにきちんと情報が伝わるようにしなければいけないと思う。

委員：この件について、テレビでやっているのを見た。子どもは部活動が移行することによって大会に出場できたり、競技を継続することができたりして嬉しいが、親は送迎が大変だという意見もあった。私はこのような時代が来るのだと思って見ていた。

委員長：これは追求すればするほど、難しくなってくると思う。100%の市民の意見を取り入れないといけないのか、一部の意見でやるのかということも難しいと思う。

先ほども言われましたが、子どもは嬉しい、送迎する保護者は苦しいということを含めて全てを呑み込める訳でもないと思う。どこで一線を引くのか非常に難しい問題である。漠然としすぎて、市民の人はどうなったのかわからないので尚更、不安になっている。言い出しは教育委員会だが、そこに便乗して色々な団体を見てきた。分かっている団体はうまくやり、分かっていない団体は変な意味合いを付けて行政のせいにして、圧迫をかけるようなことを言っているのではないかと思う。

教育長：教育委員会で考えているのは、拠点校になった時に親が送迎できる子どもだけが、この制度を使えるということはいけないことで、例えば拠点校にして、特認校制度で他の地域に行きたい子どもはバスで4km以上離れていても全額バス代を補助し、自分で学校に行けることで親への負担は減ると考えている。また、競技団体のことを考えると、クラブ活動だけでは限界があり、やはり学校の後ろ盾がないとできないという競技団体がほとんどである。一生懸命やってくれようとしているものを学校にも協力してもらいたいと思う。南砺市の案では先生方が部活動をしなくてもよい訳ではなく、生活指導などをきちんと見届けてもらいながらやっていき、クラブ活動の指導は地域の指導者にやってもらい、全て任せるとなると南砺市ではダメだと思っている。それを小学校と中学校の先生が裏から支えながら、地域の指導者に指導を仰げるような環境にし、保護者の負担を少しでも減らせるようになることを模索している最中である。また、様々な意見

があると思うが、良い案があれば教えていただきたい。いただいた意見を取り入れながら進めていきたいと思うが、全ての意見を取り入れるということは難しいため、少しでも良い方向に行けるよう進めていく。

委員長：令和10年以降も子どもの人数が減っていくと考えられる。そうなってしまった時に、部活動だけでなく、学校の存続も危ういところが出てくる可能性もあるので、学校と部活動の2つのことを考えながら進めていく必要がある。皆さんまた、地域に帰られてどんな意見があるのか聞いていただきたい。最後に困るのは子どもたちではいけない。

教育長：そのようにならないようにしていく。ベストはないかもしれないが、少しでも良いものを探して進めていく。また教えてください。お願いします。

・その他

当面の主な行事予定について

事務局：(資料11に沿って説明)

・閉会のあいさつ 岩井副委員長

教育長のあいさつの中に家庭教育と学校や社会の連携が重要であるということがありましたが、私たちも昔は学校現場でも平気で使っていたようなことです。その連携とはどういうことなのかということを考えてときに、うまくいっているところとうまくいっていないところの差なのかと思う。本日の資料を見ていまして、新生児から高齢者のことについて考える会だったと思う。これからも色々な課題があると思うが、各地域に帰られまして、良い意見があれば拾ってきていただきたい。本日はありがとうございました。